



七ヶ宿中学校

# 望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

## 総合的な学習の時間発表会を実施しました！

12月8日(金)、12月の授業参観の内容として、「総合的な学習の時間の発表会」を体育館で実施しました。昨年度は発表会直前で新型コロナウイルス感染症が町内で拡大したため中止としましたが、今年度は無事開催できたことをうれしく思います。

1年生は仙台自主研修で学んできたことを発表。体験活動や調査活動を通して課題を見つけるとともに、その課題を解決する能力を養うことを目的に行いました。それぞれが自分の興味・関心のある事業所に赴き、様々な質問を通して学びを深めてきました。

2年生は南三陸校外学習と町外職場体験について発表。南三陸の地域性を生かした産業等を学び、東日本大震災からの復興や地域のPRの仕方について学んできました。また、町外での職場体験では、勤労の意義や挨拶の大切さなどを深く考えるきっかけになりました。

3年生は新たな取組として、地域交流学習について発表。8つのプロジェクト(①目指せ！レザークラフトマイスター・プロジェクト、②こ・らっしゅメニュー開発プロジェクト、③七ヶ宿の森林資源の豊かさを伝えるプロジェクト、④目指せ！わらじづくり継承者プロジェクト、⑤目指せ！おばちゃん漬けサークルメンバープロジェクト、⑥町の文化遺産長寿命化プロジェクト、⑦そばづくり&新カフェオープンお手伝いプロジェクト、⑧各地域巡回美化&お手伝いプロジェクト)に分かれ、地域の方々の支援とご協力をいただきながら学ばせていただきました。

総合的な学習の時間の目標でもある、(1)課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成したり、(2)自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現をしたり、(3)互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う、といったことができるよう今後とも支援してまいります。



## 「がん」教育開催!! ～「がん」の知識と理解を深めました～

12月13日(水)、公益財団法人宮城県対がん協会保健師、高橋尚子様を講師に「がん」教育を開催いたしました。「がん」という病気そのものに対する理解や、「がん」の予防、早期発見・治療の有効性について学習する。また、がん患者に対する理解を深めることを目的に行われました。

わたしたちの体にある細胞は約37兆個。その細胞が毎日分裂して新しくなるのだが、細胞分裂する時に異変が起こり、悪性化したものが「がん」であるとのこと。現代は2人に1人が「がん」になる割合であること。食事、運動不足、飲酒、喫煙などの生活習慣を気をつけると、「がん」の発生率を抑えられること、早期「がん」であれば9割の人が治ること、などを学びました。

「がん」という病気を正しく理解し、健康でいることの大切さを改めて感じる時間となりました。



## 第2学年職場体験学習 ～事業所の皆様ご協力ありがとうございました～

11月15日(水)～17日(金)の3日間、2年生8名は七ヶ宿町、白石市の12の事業所において、職場体験学習を実施しました。職場体験では、①暮らしや地域の特色と職業の関係について、共通性と多様性に気付かせる、②より広い視野で自分の人生を見つめ、働くことや生きることについて考える機会をもたせる、③公共性やマナーを身に付けさせる、の3つをねらいとし、体験させていただきました。生徒たちは働くことの意義ややりがい、面白さなど、携わっていただいた事業所の皆様から学び、将来を見つめる良い機会となりました。



七ヶ宿小学校  
学校だより

# 七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

## プロサッカー選手と交流しました

11月28日(火)に、ベガルタ仙台より、小畑裕馬選手(GK)、富田晋伍CC(クラブコミュニケーター)をお招きし、交流会を行いました。富田CCは、5月に続き今年度2回目の来校になります。子供たちも覚えており、「富田さん」「CC!」と声をかけるほどでした。

さて、交流会では、2人に同行した金山ファシリテーターが進行し、集合ゲーム、集団ドリブル競争、PK対決、サッカー対決を行いました。子供たちは、全力でボールを追いかけ、小畑選手も富田CCも息が上がるほど、白熱した交流が展開しました。

終わりの会では、小畑選手より「サッカーが好きでずっと続けてきた。それで、プロになることができた。」との言葉がありました。夢や目標を持ち継続することの大切さが子供たちに話され、子供たちの中には「なるほど」とうなずく姿が見られました。小畑選手、富田CC、ありがとうございました。



## 業間縄跳びで体力づくり

11月から、業間なわとび運動に取り組んでいます。毎週月・水・金曜日の活動で、金曜日には検定を行っています。合格をもらえるように、できない技に挑戦したり、回数を多く跳べるように練習したりと自主練習に励む子もいます。水曜日は縦割り班で長縄跳びを練習し、チームとして活動する姿も見られています。冬場の体力づくりとしてみんな一生懸命に頑張っています。



## 白熱のドッジビー交流

11月25日(土)に、4年ぶりの「町PTA連合会レクリエーション」が開催されました。今年度の種目はドッジビーです。柔らかいフリスビーをボール代わりにドッジボールをする種目です。子供から大人まで総勢55名ほどの参加者が集まりました。中学生以上の部の迫力ある対決、小学生の部の本気の対決など、見所がたくさんありました。参加者全員がスポーツを通して交流し、笑顔がたくさん溢れました。

